

宇治市議会だより

第104号
平成19年2月11日
(2007年)

発行 宇治市議会
〒611-8501
京都府宇治市宇治琵琶33番地
電話 20-8747 (直)
編集 議会だより編集委員会

12月定例会

費用弁償の廃止に関する 議案を全会一致で可決

平成18年12月定例会は、12月7日から12月27日までの21日間の会期で開かれました。

今定例会では、「宇治市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正」が全会一致で可決され、平成19年1月から費用弁償が廃止されることになりました。また、「教育基本法の改悪強行に抗議する決議」や「リハビリテーションの診療報酬制度に関して、調査と改善を求める意見書」等を賛成多数で可決しました。(6面に議決結果を掲載)

市政に関する一般質問は、12月14日、15日、18日の3日間にわたり、16人の議員により行われました。(2・3面に掲載)

教育委員会委員の 任命に同意

議会は、教育委員会委員の任命に関する議案に同意しました。(敬称略)

◎教育委員会委員
久富 明宏(再任、宇治市在住)

決議・意見書(要旨)

教育基本法の改悪強行に抗議する決議

国民の圧倒的多数が慎重で徹底的な審議を求めるなか、一方的な審議打ち切りにより教育基本法改定案の採決が強行された。政府は現行の教育基本法を改定する理由をいまだ示せておらず、また愛国心の強制や教育内容への政府の無制限な介入など、憲法違反の内容について説明不能に陥っている。よって、国会及び日本の教育の歴史に重大な汚点を刻んだ暴挙に対し抗議する。

療養病床再編・廃止方針の見直しを求める意見書

国は、療養病床に入院する患者の多くを医療の必要度が低い患者であると断じ、再編を進めているが、療養病床に入院する高齢者や患者の環境は様々で、機械的に退院を強制すべきものではない。よって、療養病床の廃止・削減の方針を見直し、施設入所・入院を必要とする患者が発生する社会的な原因の究明と、その原因を地域で解決していく手だてを検討するよう求める。

リハビリテーションの診療報酬制度に関して、調査と改善を求める意見書

議会は、助役の選任に関する議案に同意しました。なお、本年4月より副市長が正式名称になる予定です。(敬称略)

生活保護の「母子加算」廃止に反対する意見書

政府は、生活保護の母子加算を廃止しようとしている。母子加算は一人親の生活保護世帯に対し、子どもの健全な育成のために出され、子育てに欠かせない給付である。加算は単なる上乗せではなく、幼児や成長期の子どもがいる生活保護家庭では、母子加算があつて初めて最低限度の生活が保障されるものである。よって、生活保護の母子加算を廃止しないよう求める。

自治功労者の 推薦を承認

議会は、次の4名の自治功労者の推薦を承認しました。(敬称略)

◎宇治市議会議員
帆足 慶子
◎保護司
西村 省三
◎宇治市消防団副団長
辻 佳克
◎前宇治市助役
中谷 維伸

人権擁護委員候補者の 推薦に適任の意見

議会は、人権擁護委員候補者の推薦に適任と意見を付しました。(敬称略)

◎人権擁護委員候補者
柴田 定治 藤原 了孝
入江 宗輔 武久 征治
原田 眞智子 関河 久美子
池田 富美 門脇 洋子
小松 美恵子

助役の 選任に同意

この宇治市議会だよりは、古紙100%の再生紙を使用しています

限りある資源を大切に



第23回市民駅伝競争大会(12月10日)